

## あとがき

第十八回日蓮宗教化学研究発表大会は、平成二十九年十月十九日、日蓮宗宗務院で開催されました。本冊子は、当日の発表内容を収録したものです。

本年度は、「伝えたい震災の記憶―復興の教化学―」と題し開催致しました。本企画は、「第三十四回東北教区教化研究会議」の分科会会場での参加者からの声に応えようとしたものであり、震災の記憶を留める為の現宗研からの一つの提案でもあります。趣旨の詳細については、当研究所長三原による開催趣旨「生と死の間で考える」にてご確認頂ければと存じます。

本発表大会につきましては、従来の公募という形式を執らずに、東北教区・兵庫県東部・熊本県の宗務所長様より発表者のご推薦を頂きました。当方の趣旨をお汲み取り頂き、ご推薦頂きました所長各聖、ご発表をご快諾頂きました各聖には甚深い謝意を表します。

最後に、震災当時内閣官房副長官をお務めだった福山哲郎参議院議員に、発生当時の混乱を詳細に渡ってご発表頂きました。折しも選挙期間中、立憲民主党の幹事長という重責を担われ連日の応援演説の最中において頂き、衷心より御礼申し上げます。是非ご一読下されば幸いです。